

# 2012 年度後期 立命館アジア太平洋大学 交流学生募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学 (APU) は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

交流学生プログラムは、立命館アジア太平洋大学 (大分県別府市) に半年あるいは 1 年間「特別聴講生 (交流学生)」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です。立命館アジア太平洋大学での勉強および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

## プログラム概要

### 1. 本プログラムの目的

- (1) 双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
- (2) 双方の学生交流の促進

### 2. 期待される APU での学習効果

- (1) 英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
- (2) 国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
- (3) 上記の能力向上により海外留学の準備

### 3. 派遣期間 APU での後期セメスター開始は 2012 年 10 月 ~

< 経営学部以外 >

- (1) 後期セメスター (2012 年 9 月 ~ 2013 年 3 月)

< 経営学部のみ >

- (1) 後期セメスター (2012 年 9 月 ~ 2013 年 3 月)
- (2) 通年 (2012 年 9 月 ~ 2013 年 9 月)

### 4. 募集人数

- |             |   |         |
|-------------|---|---------|
| (1) 後期セメスター | } | 合計 10 名 |
| (2) 通年      |   |         |

### 5. 派遣先学部

アジア太平洋学部 (APS) または、国際経営学部 (APM)

### 6. APU での身分

特別聴講学生

### 7. 単位認定

単位取得した科目のみ以下の通り N 評価で認定します。(F 評価は認定しない)

- ・ 同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定 (N)。
- ・ 同一内容と認められない科目については、教養科目 (基礎科目、基礎教育科目)、専門科目 (演習含む) とともに、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定 (N)。

### 8. 単位認定の上限

APU での登録単位数と立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります。

| 派遣期間 | APU での受講登録上限単位数          | 立命館大学での単位認定上限単位数 |
|------|--------------------------|------------------|
| 後期   | 所属学部・回生の受講登録制限単位数<br>の半数 | 60 単位以内          |
| 通年   | 所属学部・回生の受講登録制限単位数        | 60 単位以内          |

大学コンソーシアム京都単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで 60 単位以内です。特に海外留学に過去に参加し、単位を認定されたことのある方は注意をしてください。

## 9 . 学 費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。また、社会人学生授業料納入特例措置を受けている場合については、継続して特例措置を受けることができます。

## 10 . 履修可能科目

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）の2006年度カリキュラムの科目が履修可能です。基本的にはすべての開講科目が履修できますが、受講定員や到達度編成による受講の前提条件がある場合などについて、以下の通り、履修科目登録に制限があります。

### 【履修制限科目】

- 外国語科目（英語含む）  
外国語科目（英語含む）は履修できない可能性があります。外国語科目（英語含む）は本学で学ぶことを前提とし、APUでは英語で開講される専門科目の履修を推奨します。
- 当該学生の母語である言語科目  
履修不可
- 英語で開講される専門科目の受講  
英語で開講される専門科目の受講する場合は、以下の基準相当以上の言語運用能力が要求されます。  
TOEFL-PBT 500点（ITPも可）  
TOEFL-iBT 61点  
TOEFL-CBT 173点  
TOEIC 587点（IPも可）  
国連英検 B級  
IETLS 5.5
- CAP科目  
APUのCAP所属学生が優先となるため、受講制限があります。  
CAP（クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム）とは  
クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム（CAP）とは、アジア太平洋学部とアジア太平洋マネジメント学部の学問分野を融合したプログラムです。「ツーリズム&ホスピタリティ」「環境・健康・生命」「国際戦略」「情報コミュニケーション技術」「言語文化」の5つのプログラムが開設され、それぞれに開講科目が設置されています。
- セッション科目（集中講義）  
卒業該当回生は、単位認定が本学の卒業判定時期に間に合わないため、冬セッション科目は受講できません。  
後期派遣は冬セッションのみ、通年派遣は夏セッションと冬セッションを受講できます。

出願にあたっては、立命館アジア太平洋大学の情報および、シラバスを立命館アジア太平洋大学のHP[<http://www.apu.ac.jp>]にて参照できますので、これらの情報をもとに、履修希望科目について各自、検討してください。

## 11 . 住居

立命館アジア太平洋大学APハウス(学生寮)を利用できます。

- (1) 寮費は、1ヶ月49,000円(共益費、寝具レンタル他含む)。この他、入居時に入居費16,000円(返還なし)が必要です。(2011年度実績)
- (2) 詳しくは、APUのWeb(<http://www.apu.ac.jp/studentsupport/modules/aphouse>)からAPハウスの情報を得ることができます。

## 12 . 奨学金等

派遣者に対して奨学金制度があります。詳細は、派遣者ガイダンス時にお伝えします。

## 13 . APUでの学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。(APU生協では、立命館大学生協のICカードは利用できません。)

## 14 . 辞退

許可発表後の辞退は認められません。

## ・出願について

### 1. 出願資格

以下の(1)～(3)の条件を満たすこと。

(1) 法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、スポーツ健康科学部、理工学部、生命科学部、薬学部の所属

(2) 2回生・3回生(回生は2012年9月26日現在) 薬学部は、2～5回生

(3) 応募者の回生に応じて以下の単位取得要件を満たすこと

< 2回生 > 2011年度後期終了時点で32単位以上修得し、かつ、2011年度後期までの外国語科目を全科目とも修得していること

< 3回生 > 2011年度後期終了時点で64単位以上修得し、かつ、2011年度後期までの外国語科目を全科目とも修得していること。

薬学部4回生は< 3回生 >の条件に修得単位を32単位、5回生は64単位加算すること

### 【注意】

出願書類不備がある場合は、一切受け付けません。

面接など必要な手続を行えるという前提であれば、出願時の学籍状態は問いません。

(留学、休学でも出願可能ですが、選考の際の電話面接等の特別な措置は行いません)

### 2. 出願期間

5月7日(月)～5月25日(金) 17:00【厳守】

### 3. 出願書類提出先

各学部事務室 BKCも学部事務室で受け付けます

### 4. 提出書類

APU 交流学生出願票 (所定様式)

志望理由書 (所定様式)

父母(保証人)の同意書 (所定様式)

成績通知表の写し

個人別時間割表の写し

言語運用能力を示す書類(TOEFL、ITP、TOEIC、国連英検、IELTS、英検)の写し

スコアをなくした場合は、出願票の「学内受験 TOEFL-ITP/TOEIC スコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新の TOEFL-ITP/TOEIC スコアが選考の際に使用されます。

### 5. 選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPAおよび面接によって選考します。面接の日程については所属学部より、本人宛連絡します。

### 6. 許可者発表

発表日時：7月11日(水) 13:00

発表場所：CAMPUS WEB WEB 掲示板あなた宛のお知らせ(個人通知)で発表

### 7. 派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。欠席は原則認めません。

日時：7月19日(木) 18:10～

場所：衣笠キャンパス 場所詳細は、許可者のみに別途通知

### 8. 出願にあたっての注意

所属している学部にて履修しているプログラム等がありましたら、必ず、応募前にそのプログラムの事務室で交流を希望している期間の履修について、確認を行ってください。特に、下記2つのプログ

ラムについては、十分な準備が必要となりますので、事前に所属学部事務室およびプログラムの事務室にご相談ください。

(1) 教職課程履修者

回生ごとに履修しなければならない必須科目(介護等体験や学校実践研修・・・、教育実習等の教職基礎科目)が配置されています。APU 交流中は、教職課程の科目を受講することができません。必ず、教職支援センターで、交流を希望する期間の履修について確認をしてください。

(2) 国際インスティテュート履修者

修了要件が定められています。APU 交流中は、国際インスティテュート科目を受講することはできません。必ず、国際センターで、交流を希望する期間の履修について確認をしてください。

問い合わせ

E-mail: [apu-tank@st.ritsumei.ac.jp](mailto:apu-tank@st.ritsumei.ac.jp)

TEL: 075-466-3350

窓口:【BKC】アドセナリオ 1F 教務課 担当:太田  
【衣笠】至徳館 4F 教務課 担当:落合